



MAEZAKI



- 特集1 施政方針
- 特集2 平成30年度予算
- Topics 火葬場整備を考えるⅢ



ミュージカルを披露する少年少女合唱団(関連記事16頁)

平成30年度

施政方針

「美しい自然を次世代へ引き継ぐ安全・安心なまち」

国のエネルギー構造高度化・転換理解促進事業費補助金を活用し、市立御前崎総合病院をはじめ、浜岡東小学校、御前崎小学校に太陽光発電パネルや蓄電池を導入します。また、御前崎港に停泊する船舶やマリナーク御前崎への再生可能エネルギーの導入に向けた調査も実施します。

今後、増加が懸念される空き家対策は、適切な管理や利活用方法を検討する協議会を設立し、「御前崎市空家等対策計画」を策定します。

環境保全への取り組みとして、平成31年度から10年間の「一般廃棄物処理基本計画」を策定します。その上で、ごみの減量化やリサイクルに取り組み、循環型社会の形成を推進します。

火葬場整備は、平成29年度に策定した基本構想をもとに、建設予定地を選定していきます。また、市民が納得できる基本計画の策定と環境影響評価を進め

るとともに、整備の必要性や候補地選定の経緯を分かりやすく丁寧に説明します。

比木地区の旧消防庁舎跡地を、救済物資を受け入れる拠点施設として改修します。また、「防災用品購入」や「感震ブレーカー設置」、「家具転倒防止器具等購入」の補助制度を継続するとともに、公共施設に配備しているAEDを更新します。

消防本部の市街地への移転により、通報から現場到着までの所要時間が全体で平均2分ほど短縮しています。さらなる体制の強化を図るため、旧教育会館に消防出張所建設を進めています。平成31年度から消防車・救急車を1台ずつ配備した24時間体制の運用開始を目指します。

近年、自然災害も複雑かつ大規模化しており、近隣の消防本部をはじめ、さまざまな防災関係機関と連携し、突発する災害に備えます。

「市民協働による居いっしょのよこまち」

道路整備は、第2次御前崎市

平成30年度の予算編成は、市税など減収が見込まれる大変厳しい財政状況の中、補助金や交付金、地方債、各種基金の有効活用により、必要な財源を確保し、予算編成方針に掲げた6つの重点施策を積極的に推進していくこととなりました。

道路整備計画に基づき順次整備していきます。避難路に指定された路線などは、社会資本整備総合交付金を活用し整備を進めます。河川維持事業も、日々の管理を確実に実施し、災害の防止や景観の整備に努めます。

生活環境対策は、木造住宅の耐震補強工事への補助金を交付してきた「TOUKAII」事業での補助額を増額し、さらなる耐震化を推進します。また、定住化による活力あるまちづくりを目的とした「住宅リフォーム支援事業」も継続します。

「すべての人が健康で安心して暮らせる 支え合うまち」

本格的な少子高齢化の到来に対し、平成30年度は結婚活動への支援を拡充します。従来から実施している適齢期の男女への出会いの場所を提供する取り組みや、低所得者の結婚を支援する結婚新生活支援補助事業に加え、結婚を望まれている皆さんの結婚活動を促す「結婚セミナー事業」を新たに実施します。

また、市内への移住促進や人口流出を抑制する住宅取得補助制度を継続します。

親が安心して育児に取り組めるよう、妊娠から出産、子育てまで、切れ目のない支援体制を強化しつつ、子育て応援手当や出産奨励金の支給、子ども医療費の完全無料化などにより、子育て家庭への経済的支援を継続します。

浜岡保育園民営化事業は、建て替え用地の造成工事や保護者説明会などを実施するとともに、移管先事業者の準備作業をサポートしながら平成32年4月の開園に向けた準備を進めます。

健康増進事業は、健康増進計画と食育推進計画を策定するにあたり「食を通じた健康づくり」を研究していきます。市民が健康づくりに取り組むきっかけづくりとして、健康マイレージのさらなる推進と生活習慣病予防などの各種出前講座を通じた普及啓発活動にも努めます。

地域医療の安定した体制づくりを進めるために「診療所等開設資金支援事業」、「医療機器整備支援事業」を継続します。

障がいがある人や、その家族にとって多様化する問題、不安を解決するため、県や近隣市、福祉事業所、福祉団体、医療機

関などと連携し支援します。高齢者や障がいがある人の権利や財産を守るため、成年後見制度の利用を推進します。市民後見人の養成や法人後見のあり方も関係機関と検討し、自立を支援します。

本市の高齢化率は、平成30年1月現在28・2割でした。2025年には33割を超えると予測されています。市では、高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を送ることができるよう「地域包括ケアシステム」の構築に取り組んでいます。今後も医療と介護の緊密な連携に加え、市民自らの健康管理や介護予防の場を積極的に提供していきます。特に多分野からの参画が重要であるため、介護予防・生活支援の面では「担い手の育成」と「第2層協議体の設置」を進め、地域において高齢者を包括的に支援する体制づくりを推進します。

「働く場所とにぎわいがたくさんあるまち」

御前崎灯台周辺および浜岡砂丘再生のための整備、そしてマリンパーク御前崎のにぎわいを



創出するための「キャンプ場りニューアル計画」に取り組みます。さらに、自然を生かした素晴らしい観光地づくりをしていることを全国に発信し、観光交流客の増加を目指します。

牧之原市と合同で活動している御前崎港客船誘致協議会でも御前崎港への客船寄港を積極的に要請しています。秋には帆船「日本丸」の初寄港を予定しており、港のにぎわい創出が期待されます。

本市で生産・水揚げされる豊富な農水産物はレベルの高い食材として、注目されつつあります。これら御前崎ブランドの特産品を、首都圏をはじめ全国へPRすることにより、販路・消費拡大につなげます。

道の駅「風のマルシェ御前崎」もオープンから5年の節目を迎えます。平成29年度の利

用者も1月末日現在の11カ月で17万1663人と昨年度を2817人上回っています。農産物の販売を拡大するとともに交流人口の増加も目指します。

水産業は、御前崎港の冷凍・加工施設などの整備をはじめ、漁業関係団体と連携し、漁港機能の利便性向上と水産業活性化を支援します。さらに御前崎生かつおの水揚げ促進や駿河湾中西部地域の4市1町広域連携による、水産業活性化への支援を継続します。

市内立地企業への継続操業と成長支援のための「設備投資促進事業費補助金」を引き続き実施します。市外企業を積極的に訪問して情報を提供し、市への立地を呼び掛けます。従来の企業優遇制度や中小企業事業資金の利子補給制度なども継続し、既存企業の経営を支援すると

もに、電源地域としての優位性や御前崎港を活用した企業誘致を推進し、産業振興と働く場所の確保に努めます。

「郷土を愛し未来を創る人づくり」

学校教育は、「スクラム教育」の充実を図るとともに、コミュニティ・スクールを積極的に推進します。高い志をもった子どもへの育成と市への愛着を図るため、地域の教育力を活用したキャリア教育を展開します。

児童が安全で快適な環境で学校生活を送ることができるよう「小学校施設長寿命化計画」を策定するとともに、平成30年度は御前崎・白羽小学校のトイレを洋式化します。浜岡中学校校舎の改築は、地域や生徒、保護者の皆さんなどの声を大切にしながら、着実に進めます。

生涯学習の拠点である図書館は、市民ニーズに対応した情報提供とサービス向上に努めるとともに、子どもたちが読書に親しみ、感性豊かに成長できるように、子どもと本をつなぐ環境づくりを推進します。

地域における社会教育を推進するため、子育て世代の保護者への家庭教育支援に努めるとともに公民館事業を中心とした生涯学習を推進します。

文化協会や体育協会、振興公社などの団体と連携し、文化芸術とスポーツの振興に取り組みとともに、関連施設をより安全で快適に使えるよう計画的に改善します。

「市民とともに経営する自律したまち」

平成28年度から取り組んでいるシティプロモーション事業は「シティプロモーション基本方針」に基づき、引き続き市民と地域、企業などと一緒になって本市の魅力の再確認や認知度をアップさせる情報を発信していきます。平成29年度までのワー

クショップでの提案をもとに、市民自らが実施するプロモーション活動を支援する補助制度を創設するとともに、地域おこし協力隊員を採用し、移住者の視点から市の魅力を掘り下げ、情報発信などに取り組み、交流人口増加を目指します。

新たに「御前崎市スポーツ振興プロジェクト」に挑戦します。本市の強みであるスポーツ環境を最大限に生かしたスポーツブランドづくりに企業や市民、各種団体、県内大学と取り組みます。これを既存産業の活性化や新たな産業の創出、雇用拡大につなげます。

市立病院は、医師や医療従事

者の慢性的な人不足が続き、大変厳しい状況です。市民の生命や健康を守るため、安定した医療の提供は必要不可欠です。このため、平成29年度に創設した「医師及び薬剤師就業支度金」や「医師紹介奨励金」、「薬剤師奨学金制度」を周知しつつ、既存制度と合わせて積極的に医療従事者確保に努めます。

昨年11月に開業した御前崎市家庭医療センター「しろわくりニッケ」は、地域の医療ニーズに応えるため、浜松医科大学や菊川市家庭医療センターと連携し、訪問診療の拡充や訪問リハビリテーション事業の開始などを予定しております。また将来の地域医療を担う研修医や医学生の実習体制を整え、早期に受け入れができるよう取り組みます。地域医療を支える市立病院の役割は、ますます重要なものとなります。今後、より一層信頼される地域医療の構築に取り組みます。

平成30年度は「第2次御前崎市総合計画」や「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を目に見え

る形で推進するため、職員一人一人となって取り組みます。今後とも市民の皆さまと力を合わせ、持続可能なまちを目指すとともに、本市のさらなる発展につなげていきます。

安心を支えるまちづくり

平成30年度スタート!

照会 財政課
☎0537-81112

すべての人が健康で 安心して暮らせる支え合うまち

- ▶子育て支援事業 1億800万円
未就学児1人当たり月額5,000円の子育て応援手当を支給
- ▶子ども医療費助成事業 2,580万円
高校生相当年齢までの子どもの医療費を完全無料化
- ▶生活支援体制整備事業 411万円
高齢者を支えるための組織を編成
- ▶介護予防・日常生活支援総合事業 5,951万円
自立支援、介護予防および重度化予防などを実施

平成30年度の市の予算がまとまりました。一般会計歳入歳出予算額は、前年度より0.4%減の170億3,000万円。この財源がまちづくりに生かされます。予算書の中から、概要と本年度取り組む主な事業をお知らせします。

(★は新規事業)

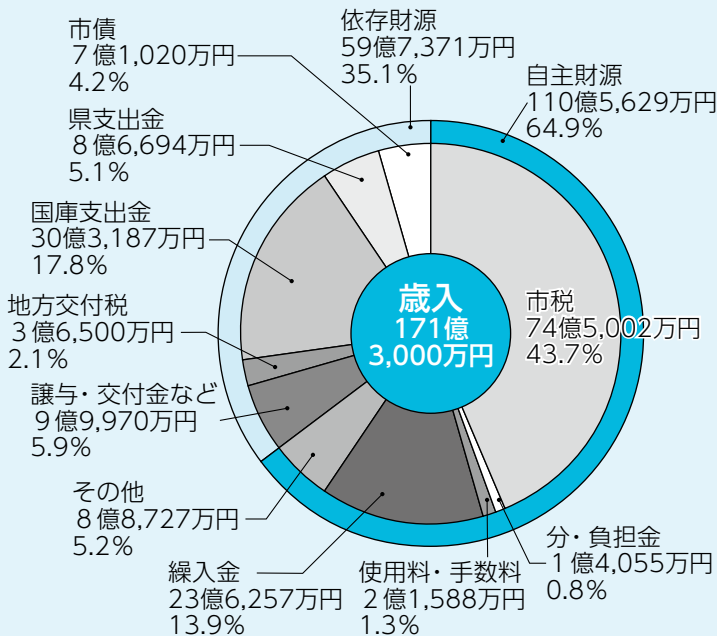
市民1人当たりの 予算はどのくらい?

市民1人当たりの予算

51万9,154円

(平成30年3月末日の人口32,996人で計算)

◎一般会計歳入



※表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

予算概要

歳出のうち目的別歳出では、消防費が消防出張所や災害支援物資拠点施設の整備などで前年度より3億4,516万円増の13億4,745万円。また教育費が小学校トイレ洋式化工事完了などにより3億9,787万円減の24億353万円となりました。

歳入のうち市税は固定資産税の減収などを見込み、前年度より4,314万円の減額となる74億5,002万円。繰入金は2億9,458万円減額となる23億6,257万円。市債は前年度より2億3,700万円増額となる7億1,020万円となりました。税収減が見込まれますが、基金からの繰入金や市債の借り入れにより必要な財源を確保しました。

郷土を愛し未来を創る人づくり

- ★施設長寿命化事業 1,620万円
市内5小学校の施設長寿命化計画を策定
- ▶ICT支援事業 426万円
情報通信技術を活用し、子どもたちの学力を向上
- ★家庭教育支援事業 19万円
子育て世代の保護者へ家庭教育を支援
- ★浜岡総合運動場陸上競技場トラック改修事業 1,500万円
浜岡総合運動場陸上競技場トラックの改修工事を実施

市民と共に経営する自律したまち

- ★スポーツ振興プロジェクト事業 2,000万円
スポーツを活用した産業振興施策を実施
- ★シティプロモーション認定事業 200万円
市を全国的にPRする取り組みを行う団体への補助



平成30年度予算

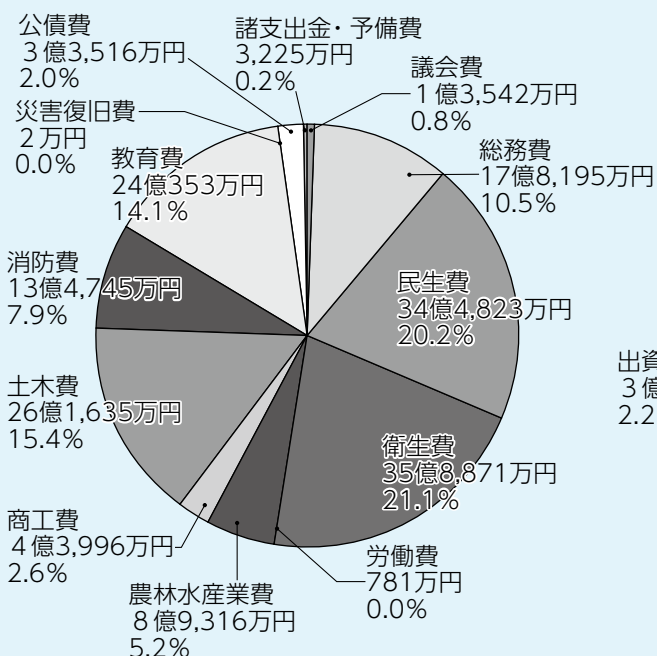
美しい自然を次世代へ引継ぐ 安全・安心なまち

- ★公共施設への太陽光パネル設置事業 3億2,523万円
浜岡東小、御前崎小、市立病院への太陽光パネル設置
- ▶火葬場整備事業 1,508万円
火葬場整備に伴う基本計画策定、環境影響評価など
- ▶災害支援物資拠点施設整備事業 1億5,450万円
災害支援物資拠点施設(旧消防庁舎)の整備
- ▶消防出張所整備事業 2億6,926万円
消防出張所(旧教育会館)の整備
- ▶感震ブレーカー設置等補助事業 650万円
感震ブレーカーの設置費用、防災用品および家具転倒防止器具の購入費用への補助

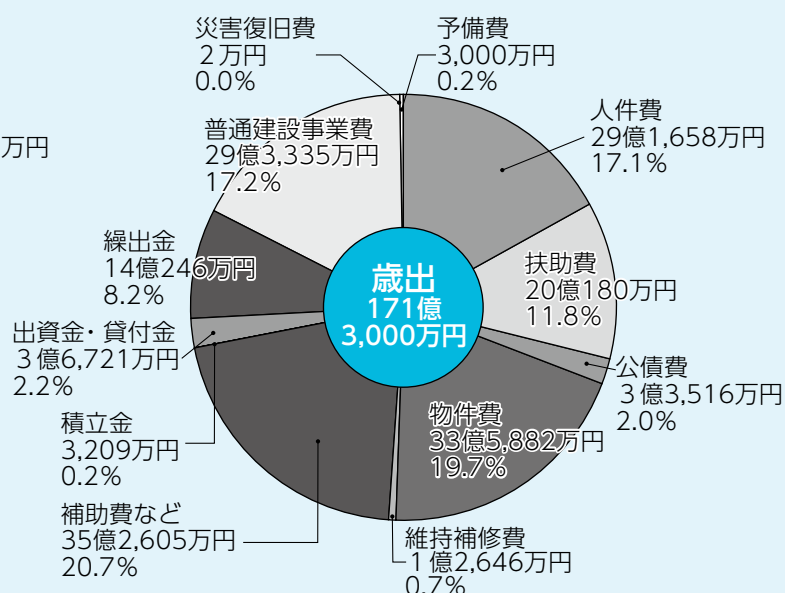
市民協働による居心地のよいまち

- ▶市道整備事業 8億3,830万円
市道207号線他市道の整備
- ▶橋梁耐震化促進事業 2,900万円
牛蒡橋他、橋梁の耐震化促進
- ▶道路、河川愛護事業 3,150万円
道路・河川愛護活動を実施した町内会などへの補助

◎一般会計目的別歳出



◎一般会計性質別歳出



特別会計・企業会計

特別会計	本年度予算額	前年度予算額
国民健康保険	39億3,600万円	45億200万円
後期高齢者医療保険	3億3,330万円	3億810万円
介護保険	26億8,182万円	25億2,631万円
農業集落排水事業	3億1,510万円	3億2,240万円
下水道事業	7億3,280万円	7億7,000万円
工業団地建設事業	6万円	6万円
5財産区計	1億567万円	1億2,195万円
企業会計	本年度予算額	本年度予算額
病院事業	61億387万円	60億3,332万円
水道事業	12億6,114万円	12億6,232万円

働く場所とにぎわいが たくさんあるまち

- ▶御前崎灯台周辺整備事業 5,675万円
灯台周辺の整備を実施
- ▶マリナーパーク御前崎整備事業 4,687万円
キャンプ場リニューアル実施計画策定および維持管理費用
- ▶特産品PR事業 649万円
首都圏飲食店などへのPRを実施
- ▶企業立地奨励事業 2,281万円
事業所を設置する企業などへの補助
- ▶設備投資促進事業 2,485万円
設備投資をする企業などへの補助

整備に向けて基本構想を策定しました

火葬場整備を考えるⅢ

照会 環境課

☎ 0537(85)1162

市は、火葬場を整備するに当たり、市の将来人口や死亡者数の予測をもとに、効率的で適正な整備・運営をしていくための基本的なことから整理し、市の基本構想としてまとめました。

1. 基本方針

火葬という厳粛な儀式が執り行われる施設として、次の基本方針に基づいた施設設備を計画します。

- ① 人生の終焉の場にふさわしい施設づくり
 - ・ 火葬場が持つ従来のイメージを拭い去るよう心掛け、尊厳と格調の高い人生終焉の場、また、心安らかに故人を見送る告別の場にふさわしい施設とします。
- ② 自然景観の保全と周辺環境に配慮した施設づくり
 - ・ 周辺には緩衝用の緑地空間を設け、外部から直接火葬場が見通すことができないよう考慮するとともに、自然で清らかな環境整備を図ります。
 - ・ 視覚的に圧迫感のない景観づくりに配慮します。
 - ・ 最新の技術を備えた火葬炉設備を導入し、無煙、無臭、無公害の施設とします。

③ 新たなニーズに対応できる人ややさしい施設づくり

- ・ ハートビル法(※1)に基づき、誰もが円滑に利用できる建築計画とします。
- ・ 案内表示は、施設の雰囲気にも調和し、誰もが分かりやすいものになります。

④ 環境に優しい先進的な施設づくり

- ・ 風、緑、光、水など自然と馴染んだ、明るくすっきりとした近代的な施設にします。
- ・ 省エネルギーや省資源に配慮した設備を取り入れます。

⑤ 効率的な管理運営を行える施設づくり

- ・ 集中管理システム、総合案内システムの導入により効率化を図ります。
- ・ 明快な動線と良好な作業環境を確保します。
- ・ 将来の設備更新を考慮した計画とします。

2. 施設の構想

火葬場は、火葬空間と待合空間の2つの要素を持つ施設です。葬送行為の流れに合わせて遺族が移動する際に、各空間での混在を避ける動線になるよう心掛けるとともに、ユニバーサルデザイン(※2)の考え方に基づいた計画とします。

新施設は、火葬業務の効率性と遺族のプライバシーに配慮して、告別と収骨を同じ空間でできる「告別・収骨室」をつくる計画とします。

また、死亡者の増加や施設の故障・修理に備えて、将来的に1炉増設できる予備空間を設け、当面、直葬(※3)などの葬儀にも対応できる多目的空間として利用する計画とします。

待合室は、遺族が最後のお別れから収骨までの時間を過ごす空間であり、火葬時間が重なっても遺族のプライバシーが守られるように個別の「待合室」を2

周囲と調和した火葬場

近年建設されている火葬場は、建物のデザインも、火葬場を連想させない工夫がされています。



岐阜県各務原市斎場「瞑想の森」の写真

- 1, 施設の全景
- 2, 待合ロビー
- 3, 収骨室

※すべて参考写真です。

室つくる計画とします。

その他、事務室やエントランスホール、待合ロビー、キッズコーナー、授乳室、僧侶控室などを設置する予定です。

周辺の環境や地形を生かした緑化や植栽、構内の車両動線に配慮した配置計画とします。

3. 必要な火葬炉数

市の人口は、2007年度の3万6648人から2016年度までの10年で3421人（約9%）減少しています。一方で死亡者数は、2016年度が381人で、44人（約13%）増加しています。

将来の人口予測をもとに計算すると、新たな火葬場に必要となる炉数は2炉となりました。

4. 市営墓地

火葬場に市営墓地を併設した場合、利便性は高まるものの必要面積や工事費が増大し、用地確保が困難となります。そのため、市営墓地「栗ノ原霊園」の未利用地を生かした墓地整備と集約型の墓所「納骨堂」や「樹木葬」などの整備を検討します。

御前崎市の将来推計人口

年度	人口(人)	死亡者数(人)	死亡率(%)	火葬炉数(炉)	全国平均死亡率(%)
2007年度	*36,648	337	0.92	—	0.88
2011年度	*35,276	396	1.12	—	0.99
2016年度	*33,227	381	1.15	—	1.03
2020年度	31,833	401	1.26	2炉 + 予備空間	1.13
2025年度	31,275	438	1.40		1.25
2030年度	30,661	466	1.52		1.36
2035年度	30,005	492	1.64		1.47
2040年度	29,164	504	1.73		1.55
2041年度	28,818	501	1.74		1.56
2042年度	28,620	501	1.75		1.57
2043年度	28,422	500	1.76		1.58

*のついた数値は住民基本台帳人口

出典：御前崎市火葬場整備基本構想

5. 葬儀式場

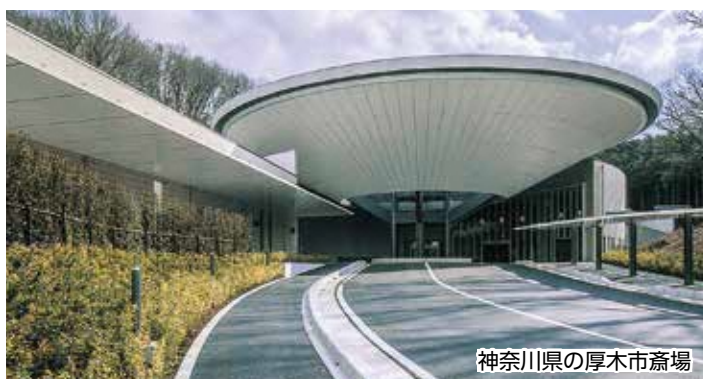
一般的に葬儀は、地域の慣習に根付いたものですが、最近では家族葬などの少人数の葬儀が増えるなど、形態が多様化しており、この傾向は今後も続くことが予想されます。

現在、市内には民間の葬儀式場があるため、原則として火葬場に葬儀式場は併設しない予定ですが、直葬などに対応できる施設づくりを検討します。

6. 建設候補地の選定

候補地の選定は、関係法令などの客観的評価項目と周辺環境やインフラ整備などの主観的評価項目で評価し、適地を絞り込んでいきます。さらに、平成30年度に「御前崎市火葬場建設候補地検討委員会」を立ち上げ、1年かけて市内全域を対象に候補地を選定していきます。

委員には、町内会の各地区代表、商工会の代表、農業委員会の代表、市民代表（女性、子育て世代）、日本環境斎苑協会主任研究員、市から副市長、市民生活部長を選任する予定です。今後、この委員会で話し合われた内容は、広報おまえざきでお知らせします。



神奈川県厚木市斎場

※1 ハートビル法：高齢者や身体障害者など、円滑に利用できる建物の建築を促進する法律。

※2 ユニバーサルデザイン：年齢や性別、障がい有無などに関わりなく、誰もが使いやすいデザイン。

※3 直葬：通夜や告別式などの宗教儀式を行わない、火葬のみの葬儀形態。

決意を胸に自衛隊へ入隊

平成30年度に自衛隊へ入隊する市民の激励会が3月9日、市役所で開かれ、井本昌行さん(中町)と北村静玖さん(白羽区)が柳澤市長らから激励を受けました。2人は「心身ともに鍛え、立派な自衛官になります」と意気込みを語りました。



地域の企業が寄付金で支援

ナカジマ鋼管(株)が市へ500万円を寄付したことを受け、市は3月20日、同社へ感謝状を贈りました。取締役製造本部長の中島教雄さんは「地域の企業として市民のプラスになればと思う」と話しました。寄付金は福祉車両などの購入に充てられました。



高松地区で第2層協議体発足

市内で3番目となる高松地区協議体の発足式が3月15日、高松公民館で開かれました。協議体の発足により、地区で情報共有や連携して高齢者の生きがいづくりや生活支援など、環境づくりが進むことが期待されます。



子どもの語学力向上を願う

(株)望月塗工が、市国際交流事業へ2000万円を寄付したことにより17度目の紺綬褒章を受章し、褒状が3月26日、柳澤市長から代表取締役望月勲氏に伝達されました。望月さんは「子どもたちの財産として残る経験をさせてほしい」と話しました。



災害時の人員や物資の輸送について12社と協定締結

災害時の緊急輸送を円滑に進めるため、市を拠点とする運送業者12社と協定を締結しました。これにより、避難住民の輸送や食料品、資機材を市の備蓄場所から広域避難所へ輸送する手段が確保されま

す。【協定先】2月27日／東海交易(株)、(有)箴川輸送、湯澤運輸(有)、浜岡運輸(有)、(有)揚商、3月2日／(株)組浜岡支店、(有)和宏商業、(株)工ポック、片山運送(有)、青葉総業(有)、(株)孝栄、(有)山下青果運輸





訓練 新設の避難路を使い訓練で効果を検証

津波避難訓練が3月11日、市内の津波浸水想定区域で実施されました。2月に避難階段が完成した下岬区では、地域住民が実際に訓練するとともに、市や消防職員が徒歩や車椅子、担架で人を搬送する場合など、さまざまなケースを想定し、効果を検証しました。その結果、階段設置以前は避難が困難と考えられていた近隣住民や就労者の避難が可能になったと実証されました。



健康 健康マイレージ景品抽選会を開催健康づくりを習慣づけよう

市民の健康づくりを促進する取り組みである「健康マイレージ」の景品抽選会が3月14日、市役所で開かれました。健康マイレージとは、運動や食事など日々の生活習慣の改善や健康診断の受診などをポイント化し、期間中に一定のポイントをためた人が特典を受けられるもので、本年度は153人から応募がありました。柳澤市長は「マイレージを機に、健康づくりに関心を持ってほしい」と話しました。

中 大舞台での活躍を誓う 中学生2人が全国出場

全国中学生空手道選抜大会に出場する静岡大学教育学部附属島田中学2年の増田翔愛さん(中原区)と常葉学園菊川中学2年の高橋優瞳さん(中町)が3月14日、市役所を訪れ、柳澤市長に抱負を伝えました。小学生の頃から通算すると、増田さんは6回目、高橋さんは8回目の全国大会となります。2人は「自分の力を最大限発揮して上位を目指します」と力強く語りました。



市 エネルギー学習の成果を発表の未来のために提言

浜岡東小6年生の代表児童6人が3月19日、市役所を訪れ「2050年の御前崎市へのぼくたち私たちの提言」を柳澤市長に手渡しました。浜岡東小では6年生が総合的な学習の時間を使い、年間40時間以上のエネルギー学習を実施してきました。今回の提言は、6年生52人が市や日本のエネルギーについて1年間学習してきた成果をとりまとめたものです。



愛犬の安らかな眠りを祈る

3 / 7

市動物保護協会は正福寺で飼い犬の慰霊祭を執り行い、市内の愛犬家ら約40人が参列して昨年1年間に亡くなったペットの冥福を祈りました。

併せて、毎年狂犬病の予防接種を受けるなど他の模範となる飼い主として認定された13人が同協会から表彰されました。

◀焼香し亡き愛犬をしのが



ダンスで元気をおすそ分け

3 / 8

白羽小学校の5年2組が結成したダンスチーム「ホワイトダンサーズ」の発表会が市文化会館で開かれました。「地域の人に元気を届けたい」と企画した校外ライブでは、流行歌に合わせて自分たちで振り付けたダンス3曲を披露しました。観客は、元気いっぱいなダンスに合わせて手拍子を打ち、ライブを盛り上げました。

◀バンダナを頭や首に巻き一体感を出してダンスを披露



外出先での被災に備え訓練

3 / 23

避難訓練「親子DE津波てんでんこ」が浜岡福祉会館で開かれ、施設利用者ら約40人が参加しました。地震が発生し津波の恐れがあるという想定で、海拔22メートルにある第一小学校まで避難しました。親子の参加者は「子どもを抱えながらの避難にどのくらい時間がかかるか分かって良かった」と話していました。

◀避難場所まで坂を駆け上がる



十人十色のお産経験語らう

3 / 25

まちづくり団体「大好き御前崎」主催の子育てイベント「いのちって素晴らしい」が市文化会館で開かれ、子育て世代の夫婦を中心に約50人が参加しました。参加者は母親、父親でそれぞれグループをつくりお産や育児への思い、経験談を共有し合い、子育てへの理解を深めました。

◀人それぞれ異なる出産当時の経験談を話し合う



神社の文化的価値に触れる

3/3

市指定文化財への理解を深めてもらおうと神社巡りが開かれ、市民ら約30人が参加しました。本殿などが市の文化財に指定されている6カ所の神社を巡り、各神社の神主や神社建築の専門家である建部恭宣たてべやすのぶさんからの歴史や建築様式の説明に、参加者は熱心に耳を傾けました。

◀高松神社の神主から建物の説明を受ける参加者



一足早く春を告げる桜並木

3/7

市観光協会主催の浜岡砂丘さくらまつりが2月17日から3月11日まで浜岡砂丘白砂公園で開かれ、市内外から約2万5000人が訪れました。

太平洋岸自転車道東西600メートルにわたるカワヅザクラの並木はトンネルのようにになっている所もあり、来場者の目を楽しませていました。

◀桜並木を背景に愛犬を撮影する来場者



ハギの名所を目指して植樹

3/11

大河ドラマ「おんな城主 直虎」に新野左馬助公が出演したことを記念して、新野左馬助公顕彰会が左馬武神社と舟ヶ谷の城山にハギを計50本植樹しました。ハギの植樹は同公を演じた俳優の刈谷俊介さんの提案で、同会の西島昌和会長は「ハギの名所にして桜が咲いていない時期も訪れてもらおう」と呼び掛けました。

◀左馬武神社のある小山の斜面にハギを植樹



暖かな歌声で観客を癒やす

3/24

毎年恒例の「菜の花摘み&コンサート」が市立御前崎総合病院で開かれ約70人が来場しました。コーラスグループ「ささゆりの会」「ひばり会」により、歌詞に菜の花が出てくる「仲良し小道」など全6曲が披露されました。来場者らは歌を一緒に口ずさんだり、花畑で花摘みを楽しんだりして春の訪れを満喫しました。

◀多くの来場者が春の歌を楽しんだ

History

キラリを再発見

掘立柱建物跡が検出された城跡

「おんな城主 直虎」特別編で紹介された新野地区だけでなく、朝比奈や比木地区にも中世の山城があります。比木城山は、比木原台地が比木字三間に張り出した標高106mの先端部に位置しています。

城跡は本曲輪と二の曲輪の2つからなります。本曲輪は東西が55m、南北60m、二の曲輪は東西30m、南北50mほどです。2つの曲輪の間の西側斜面には、二重の塹堀が確認され、全体的に塹堀や横堀が良く残っています。

この城跡は2度にわたり発掘調査が行われました。1度目の平成11年度には鎌倉から室町期にかけての溝や集石土坑と戦国時代の薬研堀が確認されました。2度目の平成16年度の二の曲輪の発掘調査では、鎌倉から室町期にかけての集石遺構と1棟の大規模な掘立柱建物跡、戦国時代の3棟の掘立柱建物跡が確認されました。このことから、室町時代以前にあった在地領主の居館跡を戦国時代になって武田勝頼か徳川家康が改修したことが明らかになりました。

照会 社会教育課 ☎0537-298735



▲比木城山の全景（北方上空から）

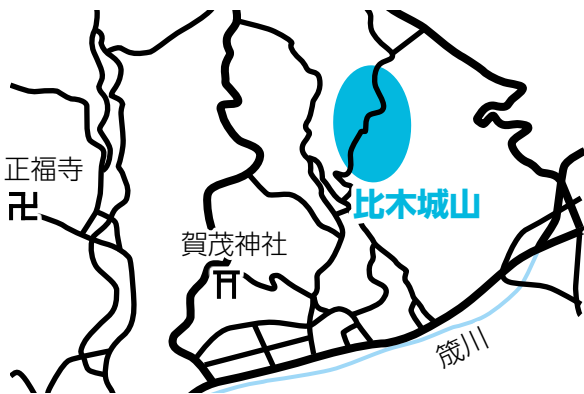


▲薬研堀と溝



▲二の曲輪の遺構群

市内比木地区



埋蔵文化財包蔵地

比木城山

Atomic

暮らしと原子力

原子力災害を想定した
中部電力(株)の緊急事態対策訓練

原子力災害を想定した緊急事態対策訓練が3月9日、浜岡原子力発電所で実施され、関係者約600人が参加しました。

年に2回実施する総合訓練の一つで、県をはじめ周辺自治体が訓練の様子を視察し、現場対応力を確認しました。

【主な訓練内容】

- ① 重大事故等対応訓練
炉心損傷への対応、格納容器破損防止対応
- ② 通報訓練
社外に対しての通報連絡
- ③ 避難誘導訓練
事象の進展に応じた退避判断および構内一斉放送による退避誘導
- ④ 原子力災害医療訓練
放射線管理区域内のけが人の搬出訓練
- ⑤ モニタリング訓練
可搬型モニタリングポストを用いた環境モニタリング



▲緊急事態対策訓練の様子



毎年受けましょう！！市のがん検診

私たちの2人に1人ががんになり、3人に1人ががんにより亡くなっています。定期的に検査をすることで、早期発見・早期治療ができます。この機会にぜひ検診を受けましょう。

検診の確認・申し込みは、お気軽にお電話ください。

検診の種類	対象者 (平成30年4月1日現在の年齢)	自己負担金	検診日程	
			浜岡地区	御前崎地区
胸部 (結核・肺がん)	40歳以上	無料 <small>かくたん</small> (喀痰検査500円)	6月	総合がん検診 7月・9月 (うち10日間)
胃がん	36歳以上	1,000円	10月～1月	
大腸がん	40歳以上	500円		
乳がん	20歳以上の女性 (偶数年齢)	1,500円	5月～9月	
子宮頸(けい)がん		1,000円		
肝炎ウイルス検査	39歳以上の未検査者(※)	1,000円	7月	
前立腺がん	50歳以上の男性	1,000円		

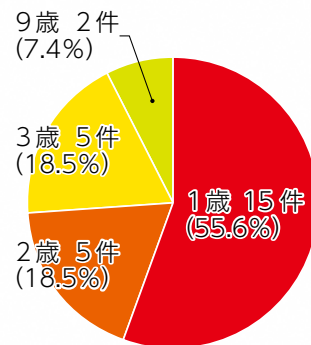
※肝炎ウイルス検査は平成30年3月31日現在の年齢。

申し込み・照会 健康づくり課 ☎0537-1123

豆やナッツ類は3歳頃までは 食べさせないようにしましょう！



消費者庁には、平成22年12月から平成29年12月末までに医療機関から、豆やナッツ類(例：大豆、ピーナツなど)を原因とする14歳以下の誤えん(※食べ物や異物が誤って気道に入ること)事故が、27件報告されています。そのうち20件を3歳未満の事故が占めています。豆やナッツ類の誤えんは、事故報告件数は多くないものの、入院を要する例が16件と全体(27件)の約6割を占めています。奥歯が生えそろわず、かみ砕く力や飲み込む力が十分ではなく、気道も狭い子どもが豆やナッツ類を食べると、気道に入って気管支炎や肺炎を起こしたり、窒息するおそれがあります。



「14歳以下の年齢別事故報告件数、割合」

【誤えん防止のため、主に以下のことに注意しましょう】

- ①豆やナッツ類は3歳頃までは食べさせないでください。
 - ・兄弟が豆やナッツを食べていても食べさせない。
 - ・小さく砕いた豆やナッツであっても食べさせない。
- ②3歳以上の子どもも、誤えんしないように、食べることに集中させ、落ち着いてゆっくりとよくかんで食べさせるようにしてください。

照会 こども未来課 ☎0537-6666

愛する郷土の史料を集め伝えていく

かわはらさき むつお
河原崎 陸雄 さん



PROFILE

かわはらさき むつお(朝比奈原・69)
26歳で10年間の研究をまとめた「浜岡町史料」を自費出版。現在は、県文化財巡回調査員として御前崎市、掛川市、菊川市、牧之原市にある県指定文化財の調査を担当。

文化財保護で地域貢献

河原崎陸雄さんは御前崎市や牧之原市、菊川市を中心とした地域の史実や伝承の研究に半生を費やしている郷土史家。長年の文化財保護活動を評価され、平成30年2月、地域のために献身的な活動を続ける団体や個人を顕彰する「第7回ふるさと貢献賞」を受賞した。

幼少期から祖父の影響で郷土の民俗や歴史に興味を持った河原崎さん。「朝比奈地区は歴史的な伝承が多く、先祖代々住んでいる人から地域に伝わる話を聞くことが楽しかった。小中学生の頃には自転車です浜松市や静岡市にある寺院や史跡を調べに行ったり、郷土史の研究発表会に参加したりしていた」と郷土史研究を始めた当時を振り返る。

郷土史研究に情熱を注ぐ

河原崎さんは社会人になってからも仕事の傍ら史料集めや研究を続け、現在収集した古文書などは約3万点に及ぶ。個人での研究以外にも、昭和46年に浜岡町史編さん委員に任命されて以来、浜岡町

文化財審議員、県の文化財巡回調査員などを歴任し、郷土史の継承や文化財の保護に力を入れてきた。中でも県の調査員は制度発足時から参加し、今年で44年目を迎える。「誰かが集めないとなつという間に史料が散逸し消えてしまう時代。愛する郷土の記録を守りたい」と一心に活動している。

次世代へつなげたい

調べるほど新しい発見があるという郷土史。「今日はどんな発見があるだろう」と毎日夢を描く。生きている限り研究を続けたい」と熱弁する河原崎さんの姿はとても生き生きしている。

これまでの研究成果を若い人へ引き継いでいきたいの思いも抱く。「郷土の長い歴史の中で、人々の努力の末に今の御前崎の魅力が生まれている。そうした背景を知ることが魅力はより際立つ。古きをたずねて新しきを知る。それが市の明るい未来につながる」と信じている」と語った。

河原崎さんの活動とそれを支える郷土への愛が次世代へつながっていくことを願う。

平成30年度町内会役員一覧

町内会役員名簿

	町内会名	町内会長	副町内会長	総務委員	建設委員	保健委員	スポーツ委員	交通指導員
池新田	東 町	早馬彰夫	浅井義幸	中村隆男	伊藤 洋	村松智鶴子	小野俊治	伊藤直樹、山下 茂
	本 町	塚本精司	鈴木 博	板倉秀和	樽林伸浩	山下小夜子	青山康志	狩野龍一、井上勝敏
	早苗町	山下隆久	鈴木清司	武井伸行	樋口昭宏	本間桂子	山下 剛	小野田忠、水野精司
	中 町	堀内敏明	栗林 誠	植田茂美	二俣 司	宮本綾子	赤堀正成	藤本孝行、貝塚好行
	大 山	◎鈴木澄彦	長尾佳和	松下正典	増田 敏	藪下亜紀子	榛村義明	加納一義、藪下和生
高松	門 屋	長島 保	長嶋正巳	長嶋数幸	二俣令次	二俣美代子	齋藤正直	藤原章賀、鈴木啓蔵
	塩 原	松本雅彦	斉藤雅徳	清水 守	大松 均	新沼君恵	秋野孝徳	沖 勝晃、水野進吾
	合 戸	○石川仁久	森下純夫	小田靖弘	橋山昭二	恩田尚代	加藤 武	森下雅彦、増田尚士
佐倉	佐倉一区	伊藤博之	伊藤裕一郎	山口智久	柳澤正幸	西原清美	杉山正樹	鈴木照夫、塚本能弘
	佐倉二区	◇増田清美	村井重信	水野修孝	松井弘悦	増田恵子	加藤隆児	河合繁康、下江知弘
	佐倉三区	増田満夫	清水次男	水野仁司	水野雅弘	湯澤明子	今村友治	判治裕尚
	桜ヶ池	水野正教	矢口文利	清水 昭	水野勝広	山本一子	小林和美	水野逸郎
比木	比木原	伊藤貞義	鈴木文雄	鈴木文雄	岡村好巳	岡村佳子	鈴木芳隆	植田 豊
	上比木	岡村信廣	橋本益利	橋本益利	橋本 篤	植田文子	増田有希	植田和浩
	下比木	◇岡村 靖	齋田芳郎	齋田芳郎	中嶋 勝	橋山伊津美	山口敏徳	齋藤仁史、小山田清
朝比奈	朝比奈原	河原崎 学	河原崎儀行	河原崎 勝	秋定克也	河原崎敦子	増田 互	河原崎幸雄
	上朝比奈	鈴木 實	鈴木 弘	河原崎正巳	河原崎 亘	白旗美由紀	鳥羽哲次	水野光男、植田政春
	下朝比奈	◇河原崎正喜	良知 卓	鈴木孝尚	杉浦正泰	杉浦一二美	増田洋一	鈴木寿弥
新野	新野西	◇吉野要介	吉野喜代己	鷲山明広	山本隆啓	松本洋子	山本好光	齊藤勇二
	新野東	佐藤信俊	鈴木寿博	鈴木康之	戸塚裕之	瀧谷益栄	秋野 崇	大池勝彦、村松利明
	新野南	鷲山義雄	牧野英男	大石清裕	齊藤 修	西森育代	齊藤達也	村松康幸
御前崎	上岬区	松井芳巳	松林孝尚	松林勝廣	坂本 清	増田葉子	坂本浩長	吉村一康
	下岬区	吉村清一郎	小澤慶司	吉村康之	吉村洋一	松井佳美	松林辰実	服部一吉
	大山区	澤入敏男	澤入利夫	飯野和哉	澤入眞佐義	鳥居春枝	益田 航	森田厚美、大濱長勇、堀川信雄
	西側区	坂部政張	大澤達夫	笹野井静夫	植田吉樹	松尾由紀子	大澤日出洋	澤入道夫、川口與志雄
	女岩区	小田藤男	内藤信行	小野田速男	鈴木 薫	加藤かをり	小田光昭	大澤俊郎、中野博行
	広沢区	◇大澤芳雄	永田暢滋	南倉博且	菰田美雄	小田淑子	植田雅人	横山弘行
白羽	新谷区	高塚 伸	高塚和己	山本恒己	栗林孝行	松井 恵	八木哲也	池谷正美、松井敏秋、高塚雅利
	薄原区	星野正三	小田悦雄	栗林正之	星野茂治	増田加代子	栗林義樹	寺田雅宣、松林久己
	中原区	○増田 昭	高塚晴久	出野勝弘	鈴木孝幸	増田祐子	増田祐次	増田和巳
	白羽区	松井 均	鈴木則夫	加藤俊秀	山本樹義	山崎礼子	増山一成	高塚雄博、柏原紀男
	白浜区	伊藤長司	加藤経義	増田恒次郎	植田政良	木村恵子	植田剛規	加藤雅弘
新神子区	松井 清	松井敏明	曾根茂美	曾根正海	大澤幸子	齋藤洋聡	加藤孝夫	

※町内会長の◎印は連合会長、○印は連合副会長、◇印は地区総代

●役員的主要な仕事内容

町内会長：自治会の代表者

副町内会長：町内会長のサポート

総務委員：環境美化の推進

建設委員：土木全般のとりまとめ

保健委員：地域の健康づくり事業の推進

スポーツ委員：スポーツの推進と振興

交通指導員：交通安全の推進と指導

Information

平成30年度標語

「あと一步 力になるよ その思い」

関連イベント内容

県ホームページ「ふじさんっこ子育てナビ」(<http://www.fujisancco.pref.shizuoka.jp/>)をご確認ください。

照会 県子ども未来課

☎054(221)3485

子ども・子育ての悩み 一人で悩まず110番

電話相談「子ども・家庭110番」では、お子さんや子育てに関する悩みを一緒に考えます。内容についての秘密は固く守り、匿名での相談も受け付けます。

相談時間 平日：9時～20時

土日：9時～17時

※祝日、年末年始はお休みです。

照会 子ども・家庭110番(西部地区)

☎053(458)4152

募集

invite information

介護認定調査員 を募集します

介護保険認定のための訪問調査員を募集します。

募集人員 若干名

資格要件 看護師・保健師・介護支援専門員のいずれかの資格または認定調査員の経験があり、普通自動車免許のある人

募集期間 7月31日(火)まで

※詳細はお問い合わせください。

照会 高齢者支援課

☎0537⑧1118

第10回ちびっこ運動会 参加者募集

日時 5月9日(水)

集合時間 10時(受付9時30分)

開始時間 10時10分

※雨天の予備日 ①5月10日(木)、
②11日(金)

場所 浜岡総合運動場陸上競技場

対象 0歳からの未就園児と保護者

申込期限 4月27日(金)まで

※当日の飛び入り参加は一切できません。必ず期限内に申し込みください。

申し込み・照会 浜岡中央児童館

☎0537⑧8066

東海アクシス平成30年度 実習指導教員募集

募集職種 実習指導教員または看護教員.....若干名

受験資格 昭和53年4月2日以降に生まれた人で、看護師の資格を有し、保健師、助産師または看護師として勤務経験5年(4年生大学卒業者は3年)以上の人。看護教員は上記に加え、大学または大学院で教育に関する科目を履修した人。あるいは厚生労働省認定看護教員養成講習会修了者(見込みを含む)。

出願期間 10月31日(水)まで

試験日 申込者に後日連絡

採用時期 平成31年4月

※詳細はお問い合わせください。

照会 東海アクシス看護専門学校

☎0538④8111

自衛官になって国の 安全のために働こう

防衛省・自衛隊では、一般幹部候補生を募集しています。

※詳細はお問い合わせください。

申込期限 5月1日(火)まで

照会 自衛隊静岡地方協力本部

袋井地域事務所

☎0538④3717

人の動き

(平成30年3月末日現在の速報値)

(前月比)

人口 32,996 (-113)

男 16,742 (-60)

女 16,254 (-53)

世帯数 12,093 (-8)



今月の表紙



御前崎市少年少女合唱団の20周年記念演奏会が3月25日、市民会館で開かれ、市内外から約560人が来場しました。OB・OGも参加し総勢54人で「銀河鉄道999」などを歌ったほか、合唱ミュージカル「森の歌」を披露し、透き通った歌声と楽しげな演技で観客を魅了しました。

Loss time

春は別れの季節です。私たち市の広報担当も異動となり、今月号で筆を置くこととなりました。

取材などで多くの人に出会い、いろいろな価値観や魅力などを知ることができました。ここでしか得られないとても貴重な体験をさせていただいたことに感謝しています。取材先で出会った笑顔、読者の皆さんがくれる感想はいつまでも残る宝物です。

新たな担当者2人がつくる「広報おまえぎき」もよろしくお祈りします！ T & C

お知らせ information

扶助費の申請期間は 5月1日から31日まで

平成30年4月1日時点で市内に住所があり、以下の要件に該当する人に、扶助費を支給します。

支給要件

- ①身体障害者手帳1・2級、療育手帳、精神保健福祉手帳1・2級のいずれかをお持ちの人で、世帯合計所得額600万円以下の人
- ②70歳以上のひとり暮らしの人で、収入金額150万円以下の人
- ③義務教育終了前の交通・労務災害遺児を扶養している人で、世帯合計所得額500万円以下の人
- ④介護度3以上または身体1級のねたきり者を6カ月以上常に家庭で介護している人
- ⑤介護度3以上の認知症の人を6カ月以上常に家庭で介護している人

申請方法 申請書を地区担当の民生委員へ提出してください。

照会 福祉課

☎0537⑤1121

結婚新生活支援補助金 について

市では、結婚に伴いアパートなど市内の新たな住居へお住まいになるご夫婦の新生活を応援します。

対象世帯 平成30年1月1日から平成31年3月31日までの間に婚姻届を提出し、受理されたご夫婦

条件

- ・夫婦の年間所得の合計が340万円未満であること。
- ・夫婦共に婚姻日における年齢が34歳以下であること。
- ・対象となる住居が市内にあり、

夫婦の双方または一方の住所が当該住居の住所であること。

- ・他の公的制度による家賃補助を受けていないこと。

補助金額 平成30年1月1日から平成31年3月31日までの間に結婚に伴い要した住居費と引っ越し費用の合計額を対象に30万円を上限として補助。

※詳細はお問い合わせください。

照会 企画政策課

☎0537⑤1161

高校生の留学や 語学研修を支援します

市では、国際的な視野を持つ人材を育成するため、留学や語学研修にかかる費用の一部を補助します。

対象者 高等学校などに在籍している市民、または市内の高等学校などに在籍している者で、学校や地方公共団体、民間団体が主催する留学プログラムに応募し、1週間以上1年未満の留学などへ出発することが決定、または内定した者の保護者

交付要件 市税などの滞納がなく、過去にこの制度を利用していないこと

補助金額 10万円(ただし、10万円に満たない場合はその額)

補助対象経費 ①往復渡航費②留学中の滞在費③授業料④留学プログラム費用⑤その他市長が必要と認める費用

※詳細はお問い合わせください。

照会 企画政策課

☎0537⑤1161

地域のまちづくり活動を 支援します

市では、まちづくりや人づくりなどに自発的に取り組む活動団体へ補助金を交付しています。

対象活動

公益的かつ新たに取り組む活動で次の①～③のいずれかに当てはまるもの

- ①地域の課題などに自主的かつ自立的に取り組む活動
- ②地域の景観や歴史文化などを活かした地域づくりなど、地域の活性化につながる活動
- ③まちおこしイベントなど、地域活性化に効果的なイベント活動

補助額 ①手作り施設整備活動(50万円以内) ②手作り施設整備活動【フォローアップ型】(25万円以内) ③人づくり等育成活動(20万円以内) ④地域活性化のための活動(20万円以内) ⑤まちづくり団体等広報活動(5万円以内)

※詳細はお問い合わせください。

照会 企画政策課

☎0537⑤1161

文芸おまえざき第14号 を発刊しました

投稿者77人による122点の文芸作品が掲載された「文芸おまえざき第14号」が、3月10日に発刊されました。どの作品も力作ぞろいです。ぜひご購入ください。

価格 1冊500円

販売場所 社会教育課、市立図書館アスパル

照会 社会教育課

☎0537⑨8735

5月5日から11日は 「児童福祉週間」です

児童福祉週間を中心に、県内各地でさまざまなイベントや啓発事業が実施されます。これをきっかけに、子どもや家庭のこと、子どもの健やかな成長について、みんなで考えましょう。



「かわいい」おまえぎのたから

4月
生まれの
元気な子



こばやしつばさ
小林翼くん1歳
(薄原区)



やまもとひろき
山本博己くん1歳
(新谷区)



かとうあお
加藤杏桜ちゃん1歳
(佐倉一区)



えだむら ゆう
桜村優ちゃん2歳
(新神子区)



うえた はると
植田悠仁くん2歳
(中町)



このコーナーは
ケーブルテレビでも
放送されるよ!

お子さんのかわいい笑顔を広報紙に掲載しませんか。
対象：6月生まれの1～3歳児で本コーナーへ掲載されたことのない子
申込期間：5月7日月、8日火の2日間、8時15分～17時(最大8枠。先着順)
申込先：市役所総務課 ☎0537⑤1132

普段の食事に “野菜プラス1皿”



彩り野菜のチーズあえ

材料(4人分)

- レンコン 80g
- ブロッコリー 200g
- ニンジン 80g
- しょうゆ 小さじ1
- カッターチーズ(クリームタイプ) 150g
- ★砂糖 小さじ2
- ★きな粉 大さじ2
- ★塩 小さじ1/10
- ゆで塩 適量

▶ 1人分 = 97kcal

- 1 チーズは室温に戻しておく。
- 2 レンコンは薄い半月切りにして、酢水(分量外)にさらす。ブロッコリーは小房に分ける。
- 3 レンコンをゆでて、水を切っておく。ブロッコリーは塩を加えゆでて、水を切っておく。
- 4 ニンジンは生のまま3cmの長さの千切りにする。
- 5 3、4をボールであえ、しょうゆで下味をつける。
- 6 1と★の材料を混ぜ合わせ5とあえる。